

# 事故防止チェックリスト 生後4か月～1歳6か月

◆子どもの周りには危険がいっぱいです。この機会に子どもの目の高さで日常生活を再点検し、あてはまるものに○をつけてみましょう。

ベビー用品・おもちゃは月齢、使用目的や安全マークを目安に選び、取り扱い説明書をよく読んでいます。



子どもを抱いたり、おぶったりするときは、周りにぶつかると危ないところがないか確認している。



階段や玄関など段差のあるところに、子どもが落ちないように対策をしている。




ポットや炊飯器、熱い鍋・アイロンは子どもの手の届かない所に置いている。



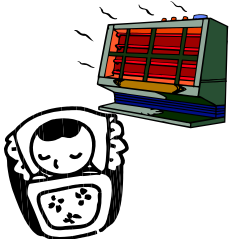
テレビ台のガラスの扉やドアのちょうつがい部分に、子どもが手や指が入らないようにガードをしている。



たばこ、灰皿、ボタン型電池、硬貨、刃物、アクセサリー、薬、マッチ、化粧品、洗剤などを子どもの手の届かない所に置いている。



ストープ、ヒーターの側に寝かせたり、ホットカーペットの上に寝かせたままにしない。



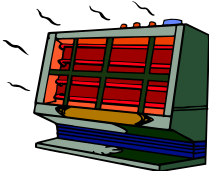
ベビーベッドの柵はいつもあげている。



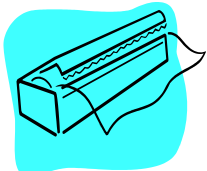
熱い飲み物や食事は、テーブルの端に置かない。



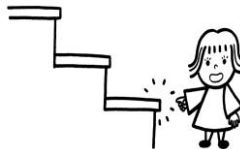
ストープやヒーターなどは安全柵で囲っている。



ビニール袋やラップは子ども手の届かない所に片づけている。



家具などの角の鋭い部分には、クッションなどのガードをしている。



浴槽、洗面器やバケツに水を貯めたままにしない。



子どもを寝かせるときは、よだれかけを外している。



テーブルクロスは使用していない。



自動車に乗るとき、チャイルドシートを後部座席に取り付けて使用している。



子どもを抱きながら、熱い物の飲食や料理はしないようにしている。



心肺蘇生法（人工呼吸や心臓マッサージなど）を知っている。



子どもがソファやベッドなど高い所にいるときは目を離さないようにしている。



お兄ちゃんやお姉ちゃんが腕を強く引っ張ることがないようにしている。




川西市保健  
センター  
758-4721

◆いくつ○がつけましたか？ ○が多いほど安全対策は万全です。乳幼児の事故は大人のちょっとした気配りで防止できることがたくさんあります。このチェックリストを活用して、子どもたちを危険から守り、健やかに育てていきましょう。

